

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法によっている。

リース資産（所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産）

重要性の乏しいリース取引（300万円以下）については、通常の貸借処理の方法による。

その他についてはリース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

#### (4) 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 会計方針の変更

なし

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 投資有価証券	140,257,072	89,876,191	90,028,634	140,104,629
合 計	140,257,072	89,876,191	90,028,634	140,104,629

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(内指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 投資有価証券	140,104,629	0	140,104,629	0
小 計	140,104,629	0	140,104,629	0
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	140,104,629	0	140,104,629	0

### 5. 担保に供している資産

なし

## 6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	10,608,349	9,197,062	1,411,287
リース資産	26,859,600	19,193,760	7,665,840
繰延資産	2,166,000	962,250	1,203,750
投資有価証券	27,313,541	0	27,313,541
合計	66,947,490	29,353,072	37,594,418

## 7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
国債（第346回）	50,228,438	51,190,000	961,562
国債（第351回）	89,876,191	91,890,000	2,013,809
合計	140,104,629	143,080,000	2,975,371

## 8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
運営補助金	宇部市	0	4,537,000	4,537,000	0	一般正味財産
市民スポーツ大会等開催助成金	宇部市	0	1,874,000	1,874,000	0	一般正味財産
振興事業推進補助金	山口県体育協会	0	80,000	80,000	0	一般正味財産
合計		0	6,491,000	6,491,000	0	

## 9. その他

### (1)引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	11,661,860	1,163,449	0	12,825,309
合 計	11,661,860	1,163,449	0	12,825,309

### (2)リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

その他固定資産・・・LED照明（西部体育館）、トレーニングジム機器、高速フルカラープリンターである。